

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

GHSの製品特定	エルバサイトアクリルレジン - ポリ (メチルメタクリレート/n-ブチルメタクリレート/ヒドロキシエチルメタクリレート/メタクリル酸)
製品説明	メチルメタクリレート/n-ブチルメタクリレート/ヒドロキシエチルメタクリレート/メタクリル酸を主成分とするポリマー このSDSは下記のグレードに適用されます。エルバサイト 2820, 2901, 2902, 2903, 4155 035227-05-5
CAS 番号	035227-05-5
奨励用途	接着剤。
奨励しない用途	知られていない。
供給者の詳細	ルーサイト・ジャパン株式会社 〒100-8253 東京都千代田区丸の内 1丁目1番1号 パレスビル Tel : 03-6748-7612 Fax: 03-3286-1397 Lucite International Japan Limited Palace Bldg. 1-1-1 Marunouchi Chiyoda-ku Tokyo 100-8253 Japan Tel : +81 3 6748 7612 Fax: +81 3 3286 1397
緊急連絡電話番号	080-1308-5198

2. 危険有害性の要約

危険有害性分類	供給/使用に対して危険物に分類されていない。
他の危険有害性	可燃性だが、容易に着火しない。空气中で可燃性粉塵の濃度となる恐れがある。 通常の取扱いや使用の場合は、毒性が低い。

3. 組成/成分情報

物質の化学名	ポリ (メチルメタクリレート/n-ブチルメタクリレート/ヒドロキシエチルメタクリレート/メタクリル酸)
CAS 番号	035227-05-5

危険有害成分(類)	%W/W	CAS 番号
危険有害物質に分類されない。		

4. 応急措置

応急措置の説明	
吸入	吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすいよう安静にすること。
皮膚接触	皮膚に付着した場合： 水でよく手を洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の手当てを受ける。 熔融した材料で重いやけどをする。皮膚から熔融材料を剥がしてはならない。水で素早く冷却する。
眼との接触	眼に入った場合： 水で数分注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

摂取

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
悪い症状が現れたら、医師の治療を受ける。

急性および遅延性の最も重要な症状と影響

該当なし。

応急処置および必要とされる特別な処置の指示

特になし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

不適切な消火剤

危険有害性の要約

水噴霧、泡、粉末または炭酸ガス。

ウォータージェットを使用しない。

可燃性だが、容易に着火しない。空気中で可燃性粉塵の濃度となる恐れがある。

燃焼または熱分解されると、有毒で刺激性のある引火性蒸気が発生する。

類似した物質との類推で、製品を 200℃を超える温度に加熱すると分解することがある。

消火作業用の特別な保護具と予防措置

火災の時、自給式の呼吸具と適切な保護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および

緊急時措置

環境に対する予防措置

封じ込めおよび浄化方法と機材

その他の参考事項

注意 - 漏出物は滑りやすい恐れがある。

環境への放出を避けること。

ほうきで掃いてシャベルで廃棄用のドラムやプラスチックの袋に入れる。

流出した場所を水で洗う。

次の項を参照: 8, 13

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

工程の危険有害性

供給される製品: 目に入らないようにする。長期間の皮膚接触を避ける。

正常な取り扱い条件下では粉じんの有害性が現われると思われない。

本製品は幅広い産業用途に使用可能と思われ、それゆえ、すべての工程の危険有害性について詳細な推奨を提供することは不可能です。次に述べるのは一般的なアドバイスである:

高温の材料との接触を避け、やけどを防ぐため、十分に注意する。

加熱工程では、熱により発生するモノマー分解物を除去するため適切な換気装置を使用し、また、バインダー用として使用される場合には、安全にレジン熱分解するため不活性ガス中で行う必要があるかもしれない。

加熱工程では、加熱時間-加熱温度によるレジンの分解について考慮すること。いかなる

ポリマーも加工温度である程度劣化し、その度合いは、温度が高いほど大きい。

したがって、放出されるかもしれない物質を明確にすることは不可能である。しかし、実質上変化するのはマイナーな成分のみである。主成分はセクション 10 に記載する。

製品を危険有害性の影響が十分に把握されていない用途に使用する場合には、使用前に供給者と相談する。

安全な保管条件

アクリル樹脂は袋もしくはバルクコンテナで供給される。熱源からはなし、清潔で涼しく乾燥した場所に保管する。自然換気が適する。

保管温度 (°C):

室温。

混触危険物質:

知られていない。

8. 暴露防止及び保護措置

管理指標

物質	CAS 番号	LTCL ppm (8 時間 TWA)	LTCL mg/m3 (8 時間 TWA)	STEL ppm	STEL mg/m3	参照
粉塵 (総吸入可能粉塵) (吸入性粉塵)			10 4			
以下の値は、熱加工の際に発生するかもしれない物質に適用されます						
メタクリル酸メチル	000080-62-6	50	8.3 208	100	416	JSOH WEL
n-ブチルメタクリレート	000097-88-1	50	258	100	516	COM
メタクリル酸	000079-41-4	20	72	40	143	WEL

適切な工学的管理

作業場所では飲食、喫煙を行ってはならない。職業暴露限度を超過しないように (適切な局所排気を含む) 適切な排気をする。より高度なレベルの保護具が必要かどうか、作業工程と潜在的暴露の程度を考慮する。

個人用保護具 (P P E) などの個人保護措置

眼/顔面の保護



保護眼鏡/保護面を着用する。安全メガネあるいはゴーグルもしくは顔面プロテクター。

皮膚の保護



通常必要とされない。

呼吸器の保護



フィルタタイプ P3 または FFP3(EN143 または EN149)の適切な防塵マスクまたは防塵呼吸器が適当と思われる。特に高濃度の粉塵雰囲気下においては自給式呼吸器が望ましい。

熱的危険有害性からの保護

高温物を扱うときは、断熱手袋を着用する。職業暴露限度を超える濃度に暴露されるようなら、適切な呼吸用保護器具を着用する。A 型フィルターの付いた適切なマスクが適当と思われる。特に突発的な高濃度の蒸気発生の場合、自給式呼吸器が適切なことがある。

9. 物理的および化学的性質

形態

ビーズ。

色

白色。

におい

代表的なメタクリレート

pH 値

資料なし。

沸点(°C)

該当なし。

引火点(°C)

300

相対蒸発速度(エーテル=1)

該当なし。

爆発限界値

該当なし。

蒸気圧(Pascal)

該当なし。

蒸気密度(Air=1)

該当なし。

溶解度(水)

無視してよい。

溶解度(その他)

資料なし。

分配係数 (n-オクタノール/水)

該当なし。

粘度(mPa.s)

資料なし。

爆発性

該当なし。

酸化性

該当なし。

10. 安定性および反応性

反応性

非反応性材料

化学的安定性

普通の状態安定。

危険有害反応

知られていない。

避けるべき条件

熱源から離して保管する。粉じんの発生を避ける。

接触を避けるべき物質

知られていない。

危険有害性分解生成物

メチルメタクリレート、n- ブチルメタクリレート、ヒドロキシエチルメタクリレート、メタクリル酸、二酸化炭素、一 酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性

摂取
吸入

経口毒性が低い。
吸い込んでも有害とは思われない。
高温作業で発生する高濃度の蒸気は、有害である恐れがあり、気道を刺激したり、軽微な催眠効果を起こす恐れがある。

皮膚腐食性/刺激性
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

皮膚を刺激する恐れはないと思われる。
粉じんにより刺激されることがある。

感作性

皮膚感作性物質ではない。(類似物質との類推により)。
次を含む：(メチルメタクリレート/n- ブチルメタクリレート/ヒドロキシエチルメタクリレート) 通常の取り扱いでは有害物を発生しない。しかし、ポリマーマトリックスが壊された場合、たとえば有機溶剤に溶解された場合は、ポリマーマトリックス中に残存していた化学物質が放出される。このような条件下では、これらの化学物質は、取扱者がこれらの抗体をもっている場合は、アレルギー反応をおこす恐れがある。

慢性暴露

この種類の物質は、悪影響の証拠はなく、何年もの間使用されてきた。

12. 環境影響情報

生態毒性
残留性および分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性

製品は、水生生物に対し毒性が低いと予測される。
この製品は土壌中で生分解されない。土中および水中で分解されることを示す証拠はない。
この製品は生物濃縮の可能性が低い。
製品は土壌中で移動性が低いと予想される。

13. 廃棄上の注意

廃棄物には有害性がないと考えられている。きれいなスクラップは再加工できることがある。梱包材によっては回収可能である。詳細については、各自治体の条例等にしたがう。すべての梱包材が安全に廃棄処分されたか確認する。

廃棄方法

関連法に従って埋め立て処分することは可能である。エネルギー価値を回収するために、焼却することもできる。

14. 輸送上の注意

運送に対して危険物として分類されていない。(IMDG, IATA, ADR, RID, ADN)

UN 番号
適切な船積み名
等級(Class)
容器等級
環境危険有害性
使用者への特別の注意事項
大量輸送 (MARPOL 73/78 付属書 II
および IBC コードによる)

該当なし。
該当なし。
該当なし。
該当なし。
該当なし。
該当なし。
該当なし。

15. 適用法令

安全、健康および環境に関する規則 JIS Z 7252:2012
JIS Z 7253:2014

労働基準法	
労働安全衛生法	
消防法	指定可燃物 (合成樹脂類)
化学物質管理促進法	
航空法	
港則法	
船舶安全法	
海洋汚染防止法	
大気汚染防止法	
道路法施行令	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

16. その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 2, 5, 6, 11, 16
作成日: 1-9-2017

インベントリー状況

欧州連合	弊社が知る限りにおいては、当製品中に含まれるすべての化学品はREACH規制に適合しています。
米国(TSCA)	TSCA に登録
カナダ(DSL/NDSL)	NDSL に登録
日本(ENCS)	ENCS に登録
フィリピン(PICCS)	PICCS に未登録
オーストラリア(AICS)	AICS に未登録
大韓民国(KECI)	KECI に登録
中華人民共和国(IECSC)	IECSC に登録
台湾 (TCSI)	TCSI に登録
ニュージーランド (NZIoC)	成分のすべてが、登録もしくは対象外。

上記以外の化学物質リストへ登録されているかどうかは、供給者に確認して下さい。

注釈

参照: 下記のすべてが、この安全データシートに含まれているとは限りません:

WEL: 職場暴露限界 (UK HSE EH40)

LT E L: 長時間暴露限界

ST E L: 短時間暴露限界

TWA: 時間加重平均値

ST O T: 特定標的臓器毒性

IOELV: 職業暴露限度指針値 (Indicative Occupational Exposure Limit Value)

JSOH: 日本産業衛生学会

A2:

人への発がん性が疑わしい物質: 人に対するデータは信頼性のレベルでは適切であるが、人への発がん性が確認されて物質として分類するには不十分である; あるいは労働者への暴露を考えたときに暴露量、被曝経路、発生部位、組織学的形態、メカニズムが適切と思われる条件で、実験動物に発がん性を示す物質。A2 は、主に人間に関する発がん性の証拠は限られているものの、人に関連性のある実験動物では発がん性の証拠が十分であるというカテゴリーである。

エルバサイトはルーサイト・ インターナショナルグループの登録商標です。

医療用途：注意：人体内への埋め込みを含め医療用途に使用しないでください。ルーサイト・ インターナショナルは医療用途への使用に関する臨床試験を行っておりません。また、医療用途への使用を推奨するような 資料は持っていません。生体内への埋め込み若しくは生体内の体液、組織との接触を想定し、設計若しくは製造されているものではありません。ルーサイト・ インターナショナルはこれらの用途に関する監督官庁の許可の取得もしていませんしする計画もありません。

市場及び使用に特有の法規の確認、また、これらの法規に適合することの確認は、最終製品の製造者の責任です。

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取り願います。ルーサイト・ インターナショナルはいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件（法的なあるいはそうでない）はありません。ルーサイト・ インターナショナルは、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません(欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除く)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。